



青山コウヘイ

事務所ニュース No.2 2016年10月15日



同質問を傍聴した、谷川智行衆院比例東京ブロック予定候補（中央）、青山コウヘイ予定候補（右）。

笠井あきら衆院議員の質問を傍聴 命と暮らし最優先の政治へ転換を

会に臨む姿勢が、非常にふてぶてしく、まじめに議論

10月3日、衆議院予算委員会、日本共産党の笠井あきら衆院議員が、豊洲問題での国の対応などについて、安倍政権を追及しました。

豊洲への市場移設にあたり、国は認可を出しています。しかし、それを判断するためには、農水省が3月に開いた審議会では、盛り土がしっかり行わ

れているという資料が東京都から提出されました。

盛り土が実際にはなされていないことが分かった以上、「直ちに審議会開催を求め、経過を報告し、審議をやり直してもらおうのが筋ではないか」と笠井議員は迫りました。

青山コウヘイ衆院東京4区予定候補が、本質問を傍聴しました。

青山コウヘイ予定候補

なによりもまず、安倍総理や麻生副総理の委員



朝、駅頭で訴える青山候補（10月5日。京急大森町駅前）

民の命と暮らし最優先の立場へ、切り替えなければなりません。

をする姿勢を感じられなかったことに腹が立ちました。笠井議員の追及に対しても、総理や農水相は誠実な受け答えをせず、国民の食の安全を守っていく責任を、放棄しているように感じられました。生鮮食品が汚染され、私たちの命や健康が脅かされることは絶対に許されません。そもそも豊洲移転は、大手中ネコン等の利益のために強引に進められてきたものです。だれの立場で政治を進めるのか。政治の根本姿勢を、国

東京4区から青山コウヘイさんを国会へ



右から、黒澤弁護士、青山候補、JAL不当解雇撤回原告団の方
(4月「東日本大震災復興支援と原発ゼロをめざすつどい」にて)

東京南部法律事務所

弁護士 黒澤有紀子

「ひとりひとりの声を直接聞いて、社会を変える行動力の人」

青山さんは、私の中央大学法学部の後輩です。私は弁護士になつたばかりの時に大学生の青山さんにお会いしました。その時は、まだわんぱくな感じの残る青年でした。

青山さんが所属していた民青中央大学の新生歓迎企画で、私は、大学時代に学んだこと、自分はどうして弁護士になったのか、今取り組んでいる事件のことなどをお話しさせていただきました。

質疑応答のとき、参加者の学生さんたちからなかなか質問が出ずにいる中で、臆さずに(?)質問をされたのが青山さんでした。当時、私が入力を入れて取り組んでいたJAL不当解雇撤回裁判についての質問でした。

その後、青山さんは、「ぜひJALで解雇された原告の皆さんの話を直接聞きたい!」と言われ、後日、フィールドワークとして、JALの組合事務所に沢山の学生さんを連れて来てくれました。青山さんは、当事者の方の生の声を聞きたい、そして、行動したいという気持ちのある学生さんでした。

青山さんの熱い気持ちはまわりの人にも伝わり大きな行動力となりました。このことは今の青山さんにつながっていると感じます。私たち国民の生の声を聞き、国会に届け、実現してくれる、青山さんにはその力があると思います。心から青山さんを応援します!

《コウヘイ こらむcolumn》



秋祭りで餅つきをする青山候補

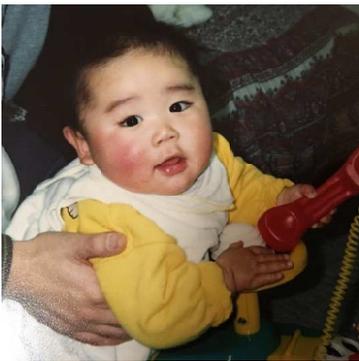
10月8日、日の出銀座通り商店街の秋祭りに参加しました。

町会のみなさんが運営され、自民党の議員の方々も参加される集まり。話したくて

たまらない、商店を追い詰めるアベノミクスの批判や、市民と野党の共闘で安倍政権を倒そうという気持ちは必死にこらえてお話ししましたが、今後は、参加者の皆さんの気持ちに応じて攻勢的に訴えようと思います。(青山コウヘイ)

《青山コウヘイの25年②》

昂平(コウヘイ)は周りの大人が太り過ぎるのを心配する程、ミルクをよく飲み、よく寝る子でした。沼津の家は、父親の両親と同居で自宅兼店舗(薬局)という環境でしたので、いつも大人に囲まれ皆から可愛いがられ、愛情をいっぱい受けて元気にすくすくと育ちました。



生後7ヶ月のコウヘイ
一歳二カ月で歩き始め
ましたが、この頃は積木
やラッパ、押し車のおも
ちゃで遊ぶのが大好きで
した。
(母)